

地下鉄短信(第253号)平成28年8月23日発行

編集 (一社)日本地下鉄協会責任者 向田正博

電話 03-5577-5182(代) FAX 03-5577-5187



- 記事 1 「地下鉄施設の保守、維持等に関する研究会」(第4回電力部会)を開催**  
2 総務省自治財政局の人事異動 (平成28年8月19日付)  
3 総務省自治財政局の配席図 (平成28年8月19日現在)

**1 「地下鉄施設の保守、維持等に関する研究会」(第4回電力部会)を開催しました。**

去る8月19日(金)の14時から、当協会会議室において、地下鉄施設の保守、維持等に関する研究会「第4回電力部会」を開催しました。この電力部会には、9地下鉄事業者から電力設備の保守管理等に携わる実務者12名及び(公財)鉄道総合技術研究所から3名、当協会3名の計18名が参加しました。

電力部会では、省エネルギー化、停電発生時の列車非常走行等を目的として、変電所内等に設置が検討されている「電力貯蔵装置」をテーマとして、蓄電池の仕様、機器構成、運用方法、省エネルギー効果、停電時の列車非常走行の試験結果について研究してまいりましたが、大阪市交通局、横浜市交通局等で既に同装置が設置され、また、神戸市交通局等でも設置が進められなど、研究成果が得られましたので、今後は、事前に実施した地下鉄事業者への研究テーマのアンケートを基に新たな研究テーマを設定し、研究を進めています。

なお、今回の第4回電力部会では、最初に鉄道総研 き電研究室の赤木主任研究員に「変電所設備の保全状況と健全度評価への取り組み」について講演していただき、変圧器の余寿命評価手法やモールド変圧器及び遮断器の健全度評価について研究しました。

次に、今後の研究テーマ案7件から京都市交通局より提案のあった「変電所機器の更新方法」及び名古屋市交通局からの「変電所・配電設備等の一括更新時の省保守に向けた設備・システムの選定」について、それぞれ提案趣旨について説明し、研究項目となる「老朽化更新の具体的な考え方」「オーバーホール内容」「更新内容」「発注方法」等について参加者全体で討議を行いました。

き電研究室 赤木主任研究員の講演



「第4回電力部会」会議風景



## 2 総務省自治財政局の人事異動

(平成 28 年 8 月 19 日付)

新	旧	氏 名
大臣官房審議官（財政制度・財務担当）	大臣官房付 併任 内閣官房内閣審議官(内閣官房副長官補付) 併任 内閣府大臣官房審議官 併任 内閣府本府道州制特区担当室長 併任 内閣府本府地方分権改革推進室次長	池 田 憲 治

## 3 総務省自治財政局の配席図

(平成 28 年 8 月 19 日現在)

次頁参照

(注) 必要に応じ、社内へ転送、回覧などをお願いします。

配信先を変更又は追加した方がよい場合は、新しい配信先の職名、氏名及びメールアドレスをお知らせ下さい。

本短信について、ご意見をお寄せ下さい。

連絡先: mukaida@jametro.or.jp

